

1 研修テーマ

「活用力を育む算数・数学授業の工夫」

2 研修の概要

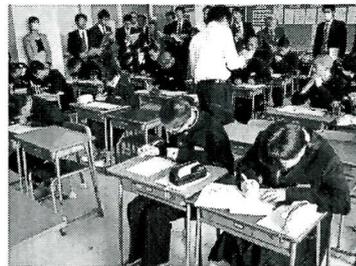
- (1) 「算数・数学部の研修推進について」の立案（5月）
- (2) 研修テーマに対する自己の研修計画を作成（1学期）
- (3) 夏季休業中の一斉研修（8月23日）
- (4) 各自の授業実践と全体授業研究会（2学期）
- (5) 実践レポートの提出（1月）
- (6) レポートについての意見交換（1～2月）

3 研修の実際

算数・数学部会は、十日町市教育センターと活動計画の段階から連携を取り、部員の資質・指導力の向上及び校内での算数・数学教育推進のリーダー育成をねらいとして取り組んできた。

夏季休業中の一斉研修では、教育課程伝達講習と「学びの系統表」（小・中学校9年間の学びを見通す）を活用した授業づくりの実践発表を行った。その後、9つのグループに分かれ、各部員が今年度の研修構想をまとめたレポートをもとに、意見交換を行い、2学期の研修の方向を確認した。

11月には、中学校1年「一次方程式の活用」の授業を参観し、指導者を招聘して、『活用力を育む算数・数学授業の工夫』を協議題に話し合った。



そして、1～2月には、当部会の研修の目玉でもある「レポート研修」が行われる予定である。各部員の実践レポートを十日町市教育センターのメールボックスで、コメント交換と嘱託指導主事の指導を受けて個の指導力向上を目指していく。

4 成果と課題

研修の推進計画を作成する段階から、十日町市教育センターと連携を取ってきたことにより、全部員が研修テーマに沿った実りある実践を積み重ねることができた。

また、今年度は、夏季休業中の一斉研修で、授業づくりに「学びの系統表」を活用した2つの実践発表を行ったことで、「学びの系統表」を活用した授業の工夫について共通理解を図ることができた。

全体授業研究会では、中学校1年生の授業を参観したことから、系統性という観点で小学校の授業で大切にしていかなければならないことについて考えることができたことが大きな成果であった。

レポート研修は5年目を迎える。レポートの相互批評を重ねることにより、部員個人の資質・指導力が向上するものと確信している。